

伊達な旅ガイド

Vol.361

笑顔咲くたび 伊達な旅

仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

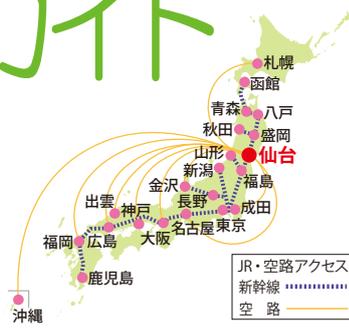
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
18:24~18:30
BS-TBSにて大好評放送中



仙台・宮城
観光PRキャラクター
むすび丸



2019年
8月11日
放送

宮城オルレ(前編)~気仙沼・唐桑コース



韓国済州島^{チェジュとう}から始まった、自然を感じられるトレッキング、オルレ。リアス式海岸が続く絶景が楽しめる宮城オルレ気仙沼・唐桑コースを歩いて見ませんか。

気仙沼・唐桑でオルレを楽しもう

オルレとは?

済州島の方言で、「通りから家に通じる狭い路地」という意味。



宮城県ソウル事務所
所長 高橋 富雄さん

「オルレというのは、ただ歩くというよりは、その地域の方々と交流して、のんびり歩く、寄り道をしながら歩くというものです。まだまだ日本のトレッキングは、歩くことをメインにしていますが、韓国ではすでに、10年以上歴史があり、ほんとに楽しみながら歩いていると感じます」



唐桑町観光協会 熊谷 羊さん

「木の枝などにかけられているリボンは、この道はオルレコースですよという目印になっています。馬の形をしたカンセというオルレのシンボルマーク。カンセというのは、のんびり屋さんという意味らしいです。カンセのようにゆっくり歩こう、という意味があります」



スタート

唐桑半島ビジターセンター

Tel.0226-32-3029



スタートは、唐桑半島ビジターセンター。

スタート地点のスタンプを押しましょう。



館内では、唐桑半島の自然とそこに暮らす人との関わりを、写真や映像で紹介しています。



唐桑半島の先端にある御崎岬



ミルフィーユのような地層の岩場。

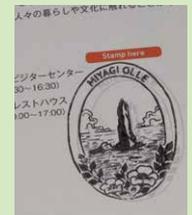
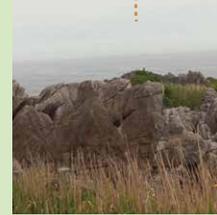
弥右衛門坂



オルレをきっかけに住民の方々が、整備して蘇らせた古道。昔、「弥右衛門」という名のキリスト教の伝道師が暮らしていたといわれています。

ゴール

半造



フィニッシュのスタンプ。

巨釜折石



高さが16メートルもあり、迫力があります。明治29年の三陸大津波の際に、先端2メートルぐらいが、津波によって折れてしまったことから名づけられたといわれています。